



図1. システマティック・レビューのためのPRISMA 2020 フローチャート

新しいデザインは、Boers⁵⁵⁾、Mayo-Wilsonら⁵⁶⁾、およびStovoldら⁵⁷⁾によって提案されたフローチャートを採用した。灰色のボックスは、該当する場合にのみ記入する必要がある。それ以外の場合は、フローチャート図から削除する必要がある。「報告」は、雑誌における論文、プレプリント、学会抄録、研究登録エントリー、臨床研究報告、博士学位論文、未発表の原稿、政府報告、または関連情報を提供するその他の文書がある可能性があることに注意を要する。

【転載元】

上岡洋晴,金子善博,津谷喜一郎,中山健夫,折笠秀樹. 「PRISMA 2020声明: システマティック・レビュー報告のための最新版ガイドライン」の解説と日本語訳. 薬理と治療 2021;49:831-42.